

事務事業評価シート

(H.30)No.	4256	(H.29)No.	4256
-----------	------	-----------	------

事務事業名	青少年センター音響設備改修事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	文化生涯学習室	宮前 浩幸	

会計区分	事業コード	509201
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 教育費	青少年センター音響設備改修事業	
項 社会教育費	(小事業名)	
目 青少年センター費	青少年センター音響設備改修事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち
	基本施策	3	市民文化の創造
	施策	1	文化振興
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
青少年センター(アドバンスコープADSホール)において、多様で優れた文化芸術の鑑賞機会を提供し、また市民の芸術文化活動を支える拠点施設として活用できるよう、舞台音響設備等の改修を行いました。
事業内容
青少年センター(アドバンスコープADSホール)の老朽化による音響設備の改修事業

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)	
	主な事業の実績・計画	音響設備等改修工事	—	—

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		52,634千円		0千円			
内訳 (千円)	国・県支出金	20,000		0			
	地方債	32,600		0			
	その他()						
	一般財源	0	34	0	0	0	0
人工数	職員	0.15人					
	臨時職員等						
②概算人件費	0千円	1,110千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
①+②総事業費	0千円	53,744千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
青少年センター(アドバンスコープADSホール)は昭和58年の開館以来34年が経過し、竣工時に設置された舞台音響設備の老朽化が顕著となっていました。設備の取り換え工事を実施することにより、良好な施設環境を整えました。今後は、市民文化発表の場である青少年センターの施設環境を良好に維持することで、市民文化の向上に寄与し、利用促進を図ります。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	事業完了(予定含む)
---	------------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)
発電用施設周辺地域振興事業費の補助金を受け、改修工事を平成29年度に行いました。会館全体について見直し、良好な施設環境の整備を進めるとともに、引き続き施設の適正管理に努めます。

6. 事務事業の取組に関する市の計画